



▲手の中から生まれる「京のつちたま」(上・下・右)



手の中から、広がれ

昨年10月から、西友亀岡店(亀岡市追分町)の4階「なんたんハートショップ」に「京のつちたま」コーナーができました。

ここには、「京のつちたま」をはじめ、南丹圏域の就労支援事業所で作られた手作りの「ほっとはあと」製品が販売されています。

店内には、さをり織り製品、ステンドグラスのランプシェード、七宝焼やビーズのアクセサリ、手染めのてぬぐいなどのほか、焼き菓子や漬物などの食品も置かれています。毎週月曜日が定休日です、午前11時から午後6時まで開



▲なんたんハートショップ店内に並ぶ「京のつちたま」

店しています。

また、今年7月からは新たに専用のホームページを開設し、インターネット販売も開始。本格的な全国展開が始まりました。このインターネット販売では、自分の好きな色のつちたまを選んで希望のアクセサリに組み合わせることができます。

「美術のノーマライゼーション」。それは、徳川輝尚代表の言葉。では、ノーマライゼーションとは何か。障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が同じ条件で生活が送れる社会。それが本来のあるべき姿だとする考え方のことだといわれます。

美術の分野においてもそれは同じことだと話す徳川さん。障がいがあるから美術的センスはないのではなく、むしろ障がいのある人々だからこそ発揮できる能力があるということ。

「京のつちたま」には、これから全国に広がり、そしていずれ世界に広がっていく『夢』がいっぱいつまっています。可能性は無量大。広がれ、広がれ、この手の中から世界へ。

■「京のつちたま」ホームページ
<http://www.tsuchitamajp/>